

もどり
還太刀「螢丸」の名付け親
阿蘇惟澄 ゆかりの地

入佐

「惠良城跡」「惠良館跡」には、現在は何も残されていませんが、豊かな自然や風土は変わることなく、時を刻み続けています。

入佐への行き方

国道218号線を清和方面へ進む
山都町畠(交差点)を左折して 県道39号線に入る
斜め右に折れてそのまま 県道39号線を進む



螢の名所

螢丸伝説がある入佐は螢の名所でもあります。
毎年5月末から6月頭にかけて沢山のホタルが舞っています。
惟澄公も毎年入佐の螢を楽しみにしていたかもしれませんね。

駐車場 P
入佐神社 まで
徒歩10分

螢の名所

入佐神社



入佐神社

弘安4年（1281年）岩尾城主阿蘇惟景卿が建立。
御神体弓矢。（惟澄は養子だったため、この神社で行う儀式を覚えたりするのも大変だったかもしれないですね。）

至 国道218号線

至 御所



惠良觀音

惠良城があったことから、江戸時代に觀音堂が建てられた。
矢部三十三箇所觀音靈場 8番札所。

惠良館跡



惠良館跡

阿蘇惟澄の屋敷跡と伝えられている。多々良浜の戦いから持ち帰った螢丸の話が今でも伝わっています。
(今現在は八本さんのお宅)

惠良城跡



惠良城跡

入佐城跡とも言われる。城跡は何も残ってはいないが、阿蘇惟澄の城と伝えられている。地元ではここで螢の夢を見たと伝わっている。
(城と言っても熊本城のようなものではなく、もののけ姫に出てくる"タタラ場"のようなイメージ)